

推進員だより

自然環境の変化から見えてきた温暖化

NPO 法人 戸隠自然森林植物園ボランティアの会 理事長 水上 則男



NPO 法人 戸隠森林植物園ボランティアの会*1では、戸隠と信濃町の境にある、皆伐された後、笹に覆われていた国有林 1.94ha の「戸隠ふれあいの森」で、「鳥居川の水源地の森を造ろう」と植樹活動を続けています。ブナ、トチノキなどの落葉広葉樹の苗をボーイスカウトと植える植樹祭は二十年を経、少しずつつらしくなってきました(写真①)。

「ハチドリのひとしずく」*2でしょうか。



①

この法人のもう一つの活動は、戸隠森林植物園で行う自然観察会(写真②)、戸隠高原でのネイチャーウォークや雪上観察などです。

私がこの法人に参加してから十数年たちました。その間、戸隠の自然は少しずつ変わってきています。ここ数年は殊に大きく変化しているように思えます。特に雪が急激に少なくなっています。積雪量が減少するだけでなく、サラ

ブナの森は緑のダム

②



サラした雪から湿った雪に変わってきているように感じています。毎年三月の中旬に雪上観察会を行っていますが、積雪量が少なく、実施が心配されるようになってきました(写真③)。また、場所によって、湿地が乾燥化したり、台風による倒木も増えています。

「地球温暖化」は単に平均気温が上がるだけではなく、「異常気象が頻発する、台風が大型化する」と推進員研修で学んだことが、予想よりはるかに早く起こっていると感じています。

大きくなあれ!

③



*1) 2018年「信州エコ大賞」で奨励賞受賞。 *2) 森の火事に一滴ずつ水を運ぶハチドリは、笑う動物たちに「私は、私にできることをしているだけ」と一言。小さな力の大切さを教えてくれる南米エクアドルのお話。

「信スマ」にご参加ありがとうございました!

長野県センターは県などと9月17日から9月30日までの2週間の日程で、「信州スマートムーブ通勤ウィーク」を展開。マイカー以外での通勤が難しい方も参加できるよう、これまでの「ノーマイカー通勤」に、本年度から「エコドライブ通勤」を加えて実施しました。結果(速報値)は次のとおりです。

🍎参加事業所数 **174** 事業所……半数を超える 92 事業所が初参加!

🍎参加者数 **31,191** 人

(ノーマイカー通勤 6,445 人、エコドライブ通勤 24,746 人)

🍎CO₂削減量 **57.3t-CO₂** (約 5,000 世帯の1日当たりの排出量に相当)



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ



11月 はエコドライブ推進月間

WARMBIZ